

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
21199	特殊地下壕対策事業	都市整備部	都市・交通計画課	2
22221	交通安全教育事業	都市整備部	都市・交通計画課	3
22221	松山市交通安全推進協議会補助事業	都市整備部	都市・交通計画課	4
22221	交通安全協会交通安全対策補助事業	都市整備部	都市・交通計画課	5
22221	運転免許返納サポート事業	都市整備部	都市・交通計画課	6
31241	松山港利用促進事業	都市整備部	都市・交通計画課	7
33111	松山市役所前地下駐車場維持管理事業	都市整備部	都市・交通計画課	8
33111	松山市役所前地下広場設備管理事業	都市整備部	都市・交通計画課	9
33111	駐車場関係運営管理事業	都市整備部	都市・交通計画課	10
33112	市営大街道駐輪場管理運営事業	都市整備部	都市・交通計画課	11
33112	JR駅前駐輪場管理運営事業	都市整備部	都市・交通計画課	12
33112	放置自転車対策事業	都市整備部	都市・交通計画課	13
33121	四国新幹線導入促進事業	都市整備部	都市・交通計画課	14
33121	公共交通利用促進環境整備事業	都市整備部	都市・交通計画課	15
33211	愛媛県土木建設負担金(街路)事業	都市整備部	都市・交通計画課	16
33222	松山空港国際化支援事業補助金	都市整備部	都市・交通計画課	17
33222	松山空港利用促進協議会負担金事業	都市整備部	都市・交通計画課	18
51112	愛媛県土木建設負担金(道路)事業	都市整備部	都市・交通計画課	19
51112	道路整備促進会事業	都市整備部	都市・交通計画課	20
52212	都市再生協議会運営事業	都市整備部	都市・交通計画課	21
52222	都市政策事務事業	都市整備部	都市・交通計画課	22
52222	松山広域都市計画変更調査事業	都市整備部	都市・交通計画課	23
52222	街路整備促進会事業	都市整備部	都市・交通計画課	24

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	都市計画担当	連絡先	948-6846
------	-------	-----	----------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	特殊地下壕対策事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
21199								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる			-	-	-	-	
施策	防災対策等の推進							
主な取組	その他		根拠法令	なし				
取組みの柱	その他							
目的・背景	特殊地下壕は戦時中に築造されたものであり、適切な管理が行われないと陥没等による事故が発生するおそれがある。そのため、十分な管理が行われていない民間が所有する特殊地下壕で、所有者等と協議が整ったものは、事故を防止するための工事を行う。							
対象・内容	北吉田町(令和7年度継続)及び高岡町(令和6年度完成)の特殊地下壕を埋め戻す工事を行う。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画整備費		
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	特殊地下壕対策事業に伴う測量設計業務委託料		4,840		
予算(千円)	事業費計	58,500	57,510	16,000				特殊地下壕対策工事(その1)		31,232	
	国費・県費	28,500	28,500	7,500					特殊地下壕対策工事(その2)		21,659
	市債	0	0	0							
	その他	0	0	0							
	一般財源	30,000	29,010	8,500							
決算(千円)	事業費計	990	57,841			主な取組内容【R6】	・北吉田町及び高岡町の特殊地下壕対策に伴う測量設計業務委託が完了した。 ・高岡町は埋戻し工事が完成した。 ・北吉田町は埋戻し工事の半分程度が完成した。				
	国費・県費	0	28,500								
	市債	0	0								
	その他	0	0								
	一般財源	990	29,341								
	(執行率)	2%	101%								
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項	北吉田町の残りの部分は令和7年度に工事を発注する予定である。				
	その他	0.0	0.0	0.0							
	合計	1.0	1.0	1.0							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	特殊地下壕対策を実施した合計箇所数	目標	2	2	1	-	予算の都合により、発注箇所を分割したため。	
		実績	0	1				
	現状維持	箇所	達成率	0%	50%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	測量作業に時間を要したことで工事が一部遅れたが、概ね計画どおりに進んでいる。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、特殊地下壕対策工事を行い、陥没等の事故を未然に防止する必要がある。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6863
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	交通安全教育事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託
22221		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		-	-	-	-
政策	安全に暮らせる環境をつくる	根拠法令	松山市交通安全計画、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律第11条、自転車活用推進法第8条第8項			
施策	生活安全対策の推進					
主な取組	交通安全対策の推進					
取組みの柱	交通安全意識の向上					
目的・背景	<p>高度経済成長期以降、全国的に自動車の数が急増したことで、交通事故による死者数が増加し続け、交通安全対策が必要となった。その後、道路整備が進み、適切な交通規制が設けられ、車両の安全性が向上したことで、着実に交通事故は減少しているものの、本市では現在も年間約1,000件の交通事故が発生しており、安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するためには、交通事故を防止し、交通安全対策を推し進めることが重要である。</p> <p>そのため、様々な世代を対象に、歩き方教室、自転車教室等の交通安全教育を行うことで、交通ルール遵守の重要性を学んでもらい、子ども、高齢者等の交通弱者の交通事故を防止する。</p>					
対象・内容	<p>【対象】市内の保育所・幼稚園児(保護者)、小・中学校児童生徒(保護者)、高校生、大学生、高齢者等</p> <p>【事業内容】保育所、幼稚園、小学校、中学校、地域の公民館等で、交通ルールに従った道路の正しい歩き方、自転車の正しい乗り方の実地指導、講話、DVD上映等による交通安全教室を行う。また、交通安全教育車を用いた参加・体験型の交通安全教室を行うほか、交通安全グッズを配布して啓発するなど、交通事故にあわない、あわせない取組を行う。</p>					

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	交通安全対策費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	17,446	18,218	18,766			主な経費 (千円) 【R6 決算】	交通安全教室等の委託料	16,843
	国費・県費	0	0	0				事務用品等の消耗品費	679
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	17,446	18,218	18,766					
決算 (千円)	事業費計	17,383	18,124				主な取組内容 【R6】	・保育所、幼稚園、小学校(1年生、3年生)、中学校で交通安全教室を行った。	
	国費・県費	0	0					・交通安全用品を配布した。	
	市債	0	0					・交通安全教育車によるイベント出動や参加・体験型の教室を行った。	
	その他	0	0					・市の交通安全マスコットを活用した啓発活動を行った。	
	一般財源	17,383	18,124						
	(執行率)	100%	99%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4			特記事項		
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	1.4	1.4	1.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	交通安全教室の実施回数	目標		220	220	220	220	交通安全教育の重要性を呼び掛け、昨年度より多くの交通安全教室を行った。	
		実績		236	239				
	現状維持	回	達成率	107%	109%				
成果指標	交通安全教室の参加者数	目標		-	25,000	25,000	25,000	交通安全教育の重要性を呼び掛け、昨年度より参加者が増加した。	
		実績		25,050	26,602				
	現状維持	人	達成率	-	106%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	幅広い世代を対象に、昨年度を上回る交通安全教室を行ったほか、交通安全啓発活動として反射材等の交通安全啓発グッズを広く配布するなど、積極的に交通安全教育や啓発を行い、交通安全意識を高めることができた。							
課題	令和6年は交通事故発生件数・死者数・負傷者数ともに前年より減少したものの、死者数に占める高齢者の割合は依然として高い。今後も、一層関係機関と連携をしながら、交通安全への取組を効果的に進めていく必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	交通事故抑止のための交通安全教育は、一生にわたる教育という位置づけのもと、継続することで効果が得られるものである。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6863
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市交通安全推進協議会補助事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
22221									
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる				-	-	-	-	
施策	生活安全対策の推進			根拠法令	松山市交通安全計画、松山市交通安全推進協議会補助事業補助金交付要綱				
主な取組	交通安全対策の推進								
取組みの柱	交通安全意識の向上								
目的・背景	<p>高度経済成長期以降、全国的に自動車の数が急増したことで、交通事故による死者数が増加し続け、交通安全対策が必要となった。その後、道路整備が進み、適切な交通規制が設けられ、車両の安全性能が向上したことで、着実に交通事故は減少しているものの、本市では現在も年間約1,000件の交通事故が発生しており、安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するためには、交通事故を防止し、交通安全対策を推し進めることが重要である。</p> <p>そのため、本市の陸上交通の安全に関する様々な取組を行う中核組織として、関係機関や団体と連携し、交通安全教育、広報、啓発活動等の各種交通安全対策に取り組んでいる「松山市交通安全推進協議会」の活動に要する費用を助成することで、本市の交通安全対策を推し進める。</p>								
対象・内容	松山市交通安全推進協議会に補助金を交付する。								

2.事業実施【Do】

事業費/財源	会計		一般会計		款		項		社会福祉費		目		交通安全対策費	
	令和5年度	令和6年度	令和6年度	令和7年度	民生費									
事業費計	7,760	7,760	7,760	8,080										7,760
予算(千円)	国費・県費	0	0	0	主な経費(千円)【R6決算】	松山市交通安全推進協議会への補助金								
	市債	0	0	0										
	その他	0	0	0										
	一般財源	7,760	7,760	8,080										
決算(千円)	事業費計	7,760	7,760		主な取組内容【R6】	松山市交通安全推進協議会が行う各種交通安全対策事業の費用に対して補助金を交付した。								
	国費・県費	0	0											
	市債	0	0											
	その他	0	0											
	一般財源	7,760	7,760											
(執行率)	100%	100%												
人役	正規職員	1.4	1.4	1.4	特記事項									
	その他	0.0	0.0	0.0										
	合計	1.4	1.4	1.4										

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	補助金の適正な交付	目標		-	1	1	1	補助金の交付に当たり、内容の精査及び検証を行い、適正に執行できた。	
		実績		1	1				
成果指標	協議会の適正な運営	現状維持	件	達成率	-	100%		報告書等に基づき、協議会の適正な運営を確認することができた。	
		目標		-	1	1	1		
		実績		1	1				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業計画どおりに事業を行うことができ、各種交通安全対策を推し進めることができた。							
課題	令和6年は交通事故発生件数・死者数・負傷者数ともに前年より減少したものの、死者数に占める高齢者の割合は依然として高い。今後も、一層関係機関と連携をしながら、交通安全への取組を効果的に進めていく必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	交通事故抑止のための本協議会の活動は、継続することで効果が得られるものである。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6863
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	交通安全協会交通安全対策補助事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金
22221								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	安全に暮らせる環境をつくる				-	-	-	-
施策	生活安全対策の推進			根拠法令	松山市交通安全計画、松山市域における交通安全協会交通安全対策補助金交付要綱			
主な取組	交通安全対策の推進							
取組みの柱	交通安全意識の向上							
目的・背景	<p>高度経済成長期以降、全国的に自動車の数が急増したことで、交通事故による死者数が増加し続け、交通安全対策が必要となった。その後、道路整備が進み、適切な交通規制が設けられ、車両の安全性能が向上したことで、着実に交通事故は減少しているものの、本市では現在も年間約1,000件の交通事故が発生しており、安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するためには、交通事故を防止し、交通安全対策を推し進めることが重要である。</p> <p>そのため、街頭での交通指導、広報活動等の交通事故防止対策に取り組んでいる「交通安全協会」の活動を支援することで、本市の交通安全対策を充実させる。</p>							
対象・内容	松山交通安全協会連合会に補助金を交付する。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	交通安全対策費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	9,250	9,250	9,250			主な経費 (千円) 【R6 決算】	松山交通安全協会連合会への補助金	9,250
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	9,250	9,250	9,250					
決算 (千円)	事業費計	9,250	9,250				主な取組内容 【R6】	交通安全協会が行う各種交通安全対策事業の費用に対して補助金を交付した。	
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	9,250	9,250						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2			特記事項		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	補助金の適正な交付	目標	1	1	1	1	補助金の交付に当たり、内容の精査及び検証を行い、適正に執行できた。	
		実績	1	1				
	現状維持	件	達成率	100%	100%			
成果指標	協会の適正な運営	目標	-	1	1	1	報告書等に基づき、協会の適正な運営を確認することができた。	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	-	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	交通安全協会が行う各種交通安全対策事業の費用の一部を補助し、交通安全協会の活動を支援したことで、充実した交通安全対策を行うことができた。						
課題	令和6年は交通事故発生件数・死者数・負傷者数ともに前年より減少したものの、死者数に占める高齢者の割合は依然として高い。今後も、一層関係機関と連携をしながら、交通安全への取組を効果的に進めていく必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	交通事故抑止のための交通安全協会の活動は、継続することで効果が得られるものである。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6863
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	運転免許返納サポート事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営
22221				各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				○	-	-	-
政策	安全に暮らせる環境をつくる							
施策	生活安全対策の推進			根拠法令	松山市運転免許返納サポート事業実施要綱			
主な取組	交通安全対策の推進							
取組みの柱	交通安全意識の向上							
目的・背景	本市での交通事故件数は減少傾向にあるものの、現在も年間約1,000件の交通事故が発生しているほか、高齢者に起因する交通事故比率は増加傾向にあり、高齢者の交通事故対策が喫緊の課題となっている。そのため、運転に不安を感じている高齢ドライバーに公共交通機関の利用券等を交付することで、免許の自主返納を促し、高齢ドライバーによる事故の防止及び公共交通の利用を促す。							
対象・内容	対象:平成25年6月1日以降に運転免許証を自主返納した65歳以上の松山市民 事業内容:申請に基づき、一人1回限り、交通利用券等を交付する。 ①交通利用券プラン(5,000円相当の交通利用券)、 ②飛鳥乃湯泉プラン(飛鳥乃湯泉2階大広間招待券2枚、2,500円相当+3,000円相当の交通利用券)のどちらかを選択。 また、一部市有施設の割引も行っている(平成29年4月1日以降に本事業の交付申請をした方)。 (注)本事業は令和6年度をもって申請受付終了。令和7年3月31日までに申請した方に対しては交通利用券等を交付する。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	交通安全対策費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	交通利用券等の購入にかかる報償費		8,897
予算(千円)	事業費計	12,241	11,586	5,323					
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	12,241	11,586	5,323					
決算(千円)	事業費計	9,569	10,072			主な取組内容【R6】	・運転免許証を自主返納した65歳以上の松山市民に交通利用券等を交付した。 ・広報紙やHPでの周知や交通安全教室、イベント等で啓発を行った。 ・本事業利用者へのアンケートを行った。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	9,569	10,072						
	(執行率)	78%	87%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.2		特記事項	本事業は令和6年度をもって申請受付終了、令和7年度は実績払い等必要経費のみ計上している。		
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	1.5	1.5	1.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	運転免許返納サポート事業交付決定件数	目標		2,000	2,000	-	-	事業を積極的に周知したことで、昨年度よりも申請者が増加した。
		実績		1,719	2,307			
	現状維持	件	達成率	86%	115%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	事業の周知を積極的に行った結果、申請件数が昨年度よりも増加している。また、運転免許を返納することで運転の機会を確実に減らしており、高齢ドライバーによる交通事故防止と公共交通機関の利用促進に貢献した。						
課題	特になし					今後の方向性	事業終期到来	左記の理由 自主返納制度の認知度向上や免許更新制度の厳格化など、高齢者の事故防止への様々な環境整備が進むとともに、民間事業所による返納者への支援も増えており、一定の事業効果が得られたため終了する。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6836
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山港利用促進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31241								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる			-	-	○	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進							
主な取組	流通機能の充実		根拠法令	なし				
取組みの柱	空港港湾・鉄道・陸送等の物流の機能強化							
目的・背景	松山港利用促進協議会を通して、松山港の定期貨物航路を拡充し、国際貨物航路網を推し進めることで、松山港の機能強化及び地域経済の活性化を目的とする。							
対象・内容	松山港利用促進協議会に負担金及び補助金を交付する。							

2.事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費
		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	1,709	1,709	1,709			主な経費(千円) 【R6決算】	松山港利用促進協議会への補助金	1,028
	国費・県費	854	0	0				松山港利用促進協議会への負担金	376
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	855	1,709	1,709					
決算 (千円)	事業費計	1,291	1,404				主な取組内容 【R6】	・松山港利用促進協議会に負担金を交付した。 ・松山港利用促進協議会が行う荷主向け、船社向けのインセンティブ補助金事業の費用に対し、補助金を交付した。	
	国費・県費	570	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	721	1,404						
(執行率)	76%	82%							
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5			特記事項		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	協議会の適正な運営	目標	1	1	1	1	報告書等に基づき、協議会の適正な運営を確認できた。	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
活動指標	補助金の適正な交付	目標	1	1			補助金の交付に当たり、内容の精査及び検証を行い、適正に執行できた。	
		実績	1	1				
	現状維持	件	達成率	100%	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	事業計画どおりに事業を行い、松山港のコンテナ貨物取扱量が前年より増加したため。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、松山港利用促進協議会を通して松山港の定期貨物航路を拡充し、国際貨物航路網を推し進める必要がある。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6863
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市役所前地下駐車場維持管理事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
33111									
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する				-	-	-	-	
施策	良好な交通環境の整備			根拠法令	松山市駐車場条例、松山市駐車場条例施行規則				
主な取組	身近な交通環境の充実								
取組みの柱	歩いて暮らせるまちづくりの推進								
目的・背景	松山市役所前地下駐車場は、国と市で整備し、平成11年2月から供用を開始している。松山市役所前地下駐車場の管理運営を指定管理者に任せることで合理的な経営を行う。								
対象・内容	松山市役所前地下駐車場について、日常の維持管理は指定管理者が行い、施設の更新等の大規模な修繕工事は国と協議して応分の負担を行う。 指定管理者:TFI株式会社								

2.事業実施【Do】

事業費/財源		会計	駐車場事業特別会計	款	駐車場費	項	駐車場費	目	駐車場管理費
		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	31,341	21,213	13,036			主な経費 (千円) 【R6 決算】	松山地下駐車場大規模修繕工事委託料	12,977
	国費・県費	10,344	4,275	0				松山市役所前地下駐車場管理計算機更新工事費	5,016
	市債	16,300	12,900	0					
	その他	4,697	4,038	13,036					
	一般財源	0	0	0					
決算 (千円)	事業費計	29,572	19,541				主な取組内容 【R6】	・TFI株式会社を指定管理者とし、合理的な駐車場運営を行った。 ・駐車場の大規模修繕工事及び駐車場管理計算機の更新工事を行った。	
	国費・県費	9,376	3,567						
	市債	16,300	12,900						
	その他	3,896	3,074						
	一般財源	0	0						
	(執行率)	94%	92%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0			特記事項		
	その他	0.3	0.0	0.0					
	合計	1.3	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	駐車場利用台数の確保	目標	100,000	100,000	100,000	100,000	新型コロナウイルス感染拡大以前の水準に戻っており、目標台数を達成することができた。	
		実績	99,684	103,253				
	単年で増	台	達成率	99%	103%			
成果指標	利用料金収入	目標	28,000	28,000	28,000	28,000	利用台数が増えたことで、利用料金収入も昨年度比で増加した。	
		実績	27,307	28,283				
	単年で増	千円	達成率	97%	101%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	目標とする駐車場利用台数を達成することができ、利用料金収入も前年度比で増額となった。指定管理者と連携し、駐車場の利用促進及び適切な運営管理ができた。						
課題	施設の経年劣化			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市民に提供する駐車場であるため、適切な維持管理を継続する必要がある。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6863
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市役所前地下広場設備管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託
33111							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する			-	-	-	-
施策	良好な交通環境の整備		根拠法令	なし			
主な取組	身近な交通環境の充実						
取組みの柱	歩いて暮らせるまちづくりの推進						
目的・背景	松山市役所前地下広場を適切に維持管理することで、清潔感を保ち、安全に利用できる通行環境を作り出すことを目的としている。松山市役所前地下駐車場及び地下広場は、国道11号の道路付属物で、地下広場は国道の横断施設、いわゆる地下道の一部であるため、国の管理となるが、松山市も整備事業に参加したため、施設の一部について、清掃及び維持管理を行う。						
対象・内容	松山市役所前地下駐車場関連施設(地下広場及びエスカレーター、広幅員階段等)のうち、エスカレーターは株式会社日立ビルシステム四国支社に保守点検業務を委託し、法定点検等を行っている。地下広場及び広幅員階段等は有限会社豊田ビルサービスに清掃業務を委託し、定期的な清掃を行っている。						

2.事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画整備費		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度							
予算 (千円)	事業費計	4,053	5,194	4,660		主な経費 (千円) 【R6 決算】	エスカレーター保守点検業務委託料		2,688		
	国費・県費	0	0	0				主な取組内容 【R6】	・松山市役所前地下駐車場のエスカレーターの保守点検のため、株式会社日立ビルシステム四国支社に委託して管理等を行った。 ・松山市役所前地下駐車場関連施設等の清掃のため、有限会社豊田ビルサービスに委託して管理等を行った。		
	市債	0	0	0						清掃業務委託料	845
	その他	0	700	0							
	一般財源	4,053	4,494	4,660							
決算 (千円)	事業費計	3,883	4,706								
	国費・県費	0	0								
	市債	0									
	その他	0	500								
	一般財源	3,883	4,206								
	(執行率)	96%	91%								
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記事項					
	その他	0.0	0.0	0.0							
	合計	0.4	0.4	0.4							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	松山市役所前地下駐車場 関連施設等清掃回数	目標	168	156	156	156	清掃後は毎回作業報告書を提出し、毎月業務実施報告書を提出することで、清掃が行われているか確認している。		
		実績	168	156					
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
活動指標	エスカレーター 保守点検回数	目標	12	12	12	12	計画どおり保守点検を行うことができた。		
		実績	12	12					
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	地下広場を清潔に保ち、利用しやすい通行環境を保つことができた。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	清潔感が保たれ、安全な歩行空間が確保できるよう適切な維持管理に務める必要がある。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6863
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1. 事業概要【Plan】

事業名	駐車場関係運営管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
33111							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		-	-	-	-	
施策	良好な交通環境の整備						
主な取組	身近な交通環境の充実	根拠法令	松山市駐車場条例、松山市駐車場条例施行規則				
取組みの柱	歩いて暮らせるまちづくりの推進						
目的・背景	市内中心部の駐車対策として昭和46年に策定した「駐車場整備計画」により整備した「松山市中之川地下駐車場」、高架道路下を有効活用した6箇所の駐車場(「松山市小坂駐車場」「松山市永木町駐車場」「松山市中村駐車場」「松山市保免駐車場」「松山市朝美駐車場」「松山市美沢駐車場」)、郊外に位置する「松山市上野駐車場」の計8箇所の市営駐車場について、運営管理を一括して指定管理者に任せることで合理的な経営を行う。						
対象・内容	市内8箇所の市営駐車場(松山市中之川地下駐車場・松山市上野駐車場・松山市小坂駐車場・松山市永木町駐車場・松山市中村駐車場・松山市保免駐車場・松山市朝美駐車場・松山市美沢駐車場)について、日常の維持管理は指定管理者が行い、施設の更新等の大規模な修繕工事は市が行っている。 指定管理者:アマノマネジメントサービス株式会社						

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	駐車場事業特別会計	款	駐車場費	項	駐車場費	目	駐車場管理費
		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	8,225	9,770	15,384		主な経費(千円) 【R6決算】		松山市駐車場事業特別会計に係る消費税及び地方消費税	2,130
	国費・県費	0	0	0				中之川地下駐車場の修繕工事等に関する費用	798
	市債	0	0	0					
	その他	8,225	9,770	15,384					
	一般財源	0	0	0					
決算 (千円)	事業費計	2,288	3,019			主な取組内容 【R6】		アマノマネジメントサービス株式会社を指定管理者とし、合理的な駐車場運営を行った。	
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	2,288	3,019						
	一般財源	0	0						
	(執行率)	28%	31%						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記事項		見込んでいた突発的な修繕工事が生じなかったことから、決算額が予算額を大きく下回った。	
	その他	0.2	0.0	0.0					
	合計	1.0	0.8	0.8					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	駐車場利用台数の確保	目標	99,000	101,970	105,029	105,029	一部の駐車場で利用台数が減少したものの、おおむね目標水準を維持することができた。	
		実績	100,875	98,923				
	単年で増	台	達成率	101%	97%			
成果指標	利用料金収入	目標	57,000	57,900	58,420	58,420	料金収入は増収となっており、目標を達成することができた。	
		実績	58,440	58,475				
	単年で増	千円	達成率	102%	101%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	目標とする利用料金収入を達成することができた。 指定管理者と連携をとり、駐車場の利用促進及び適切な運営管理ができた。						
課題	施設の経年劣化			今後の方向性	見直しを検討	左記の理由	中之川地下駐車場について、施設の経年劣化により、駐車場需給状況と大規模改修費用とのバランスを勘案の上、今後の存続の検討を行う。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6479
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	市営大街道駐輪場管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
33112								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する			-	-	-	-	
施策	良好な交通環境の整備		根拠法令	松山市自転車等の駐車対策に関する条例、松山市自転車等の駐車対策に関する条例施行規則				
主な取組	身近な交通環境の充実							
取組みの柱	放置自転車対策の推進							
目的・背景	大街道及び銀天街周辺の自転車等の路上駐輪を解消し、歩行者及び車両が安心して通行できる空間を確保するため、平成8年8月に市営駐輪場の設置に伴い事業を開始して以降、市営大街道駐輪場の運営管理を行っている。							
対象・内容	【対象】大街道・銀天街商店街周辺の自転車等利用者 【内容】委託先である(公社)松山市シルバー人材センターが大街道駐輪場の運営管理業務を行い、大街道・銀天街商店街周辺の自転車及び原付利用者の駐輪場として利用してもらっている。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	交通安全対策費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	18,622	19,152	18,829		主な経費(千円) 【R6決算】	大街道駐輪場管理運営業務委託		7,975
	国費・県費	0	0	0			自転車等搬送用コンベア1号機修繕工事		4,620
	市債	0	0	0					
	その他	8,371	10,057	10,057			大街道駐輪場電動駐輪ラック保守点検業務委託		1,379
	一般財源	10,251	9,095	8,772					
決算 (千円)	事業費計	15,882	16,770			主な取組内容【R6】	・大街道駐輪場の運営管理(委託) 委託先:(公社)シルバー人材センター ・サイクルガイドと連携した駐輪場の利用促進 ・大口定期契約の推進 ・撤去自転車の一時保管		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	10,651	10,158						
	一般財源	5,231	6,612						
	(執行率)	85%	88%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	市営大街道駐輪場の無料開放実施日	目標	10	10	10	10	夜市・松山まつりに合わせて、駐輪場の無料開放を行った。	
		実績	10	10				
	現状維持	日	達成率	100%	100%			
成果指標	市営大街道駐輪場の利用率	目標	78	80	82	82	放置自転車の警告時に駐輪場Mapを示し、高校生に対する自転車安全教室で駐輪場の位置を説明するなど、駐輪場利用に関する啓発を行った。	
		実績	79	76				
	単年で増	%	達成率	101%	95%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	本駐輪場の運営により、大街道・銀天街商店街アーケード内及び周辺路上での放置自転車の削減に貢献した。						
課題	依然として放置自転車があるため、サイクルガイドの効果的な配置や駐輪場の利用を継続的に促す必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	大まかな対策はこれまでと同様であるが、所有者への啓発活動に工夫を凝らし、放置自転車等の減少を目指す。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6479
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	JR駅前駐輪場管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託
33112							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する			-	-	-	-
施策	良好な交通環境の整備		根拠法令	松山市自転車等の駐車対策に関する条例、松山市自転車等の駐車対策に関する条例施行規則			
主な取組	身近な交通環境の充実						
取組みの柱	放置自転車対策の推進						
目的・背景	主にJR松山駅及び駅周辺の自転車及び原付の利用者に駐輪場を利用してもらい、JR松山駅周辺の放置自転車を解消することで、車両及び歩行者が安心して通行できる空間を確保する。						
対象・内容	【対象】JR松山駅及び駅周辺の自転車等利用者 【事業内容】委託先である(公社)松山市シルバー人材センターがJR松山駅前駐輪場の管理運営業務を行い、JR松山駅周辺の自転車及び原付の利用者の駐輪場として利用してもらう。なお、JR松山駅前駐輪場は令和4年10月31日に閉鎖したため、仮設駐輪場を設置している。						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	交通安全対策費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	15,435	14,507	291,951		主な経費(千円) 【R6決算】	JR松山駅北側高架下駐輪場設計検討業務委託		11,606
	国費・県費	0	0	0			JR松山駅前駐輪場管理運営業務委託		1,595
	市債	0	0	236,200			光熱費		110
	その他	0	0	53,800					
	一般財源	15,435	14,507	1,951					
決算 (千円)	事業費計	2,572	13,366			主な取組内容 【R6】	JR松山駅前駐輪場の管理運営(委託)		
	国費・県費	0	0				委託先:(公社)シルバー人材センター		
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	2,572	13,366						
	(執行率)	17%	92%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	駐輪場整理日数	目標	365	364	364	364	駐輪場の自転車を毎日整理し、枠外駐輪を防止した。	
		実績	365	364				
	現状維持	日	達成率	100%	100%			
活動指標	駐輪場長期放置撤去台数	目標	200	200	200	200	適正な利用について定期的な啓発や案内文を掲示し、利用者に周知した。	
		実績	180	276				
	現状維持	台	達成率	90%	138%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	本駐輪場の運営により、JR松山駅及びその周辺路上の放置自転車の削減に貢献した。						
課題	松山駅周辺土地区画整理事業に伴い、市営駐輪場を鉄道高架下に移設するため、JR四国と協議を進める。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	仮設駐輪場の管理運営は鉄道高架下に駐輪場を整備するまで継続する必要がある。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6479
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	放置自転車対策事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託
33112							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する			-	-	-	-
施策	良好な交通環境の整備		根拠法令	松山市自転車等の駐車対策に関する条例、松山市自転車等の駐車対策に関する条例施行規則			
主な取組	身近な交通環境の充実						
取組みの柱	放置自転車対策の推進						
目的・背景	<p>【背景】昭和50年頃に放置自転車が社会問題化したことで策定された「自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に関する法律」が平成7年に「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律」に改正されたことを受け、本市でも深刻な問題となっていた路上に集積された自転車等の解消に向け、自転車等駐車対策協議会を設置するとともに、JR松山駅、大街道及び銀天街東部地区を自転車等放置禁止区域に指定するなど、駐輪対策を押し進めた。</p> <p>【目的】放置自転車等の警告、撤去、保管、返還、処分等を行い、車両や歩行者の安全な歩行空間を確保するため。</p>						
対象・内容	<p>【対象】JR松山駅、大街道、銀天街東部地区周辺の3箇所の自転車等放置禁止区域を中心とした松山市内全域の放置自転車及び原付【事業内容】</p> <p>①放置自転車等に対して、自転車等放置禁止区域内は警告後速やかに撤去し、放置禁止区域外では警告して24時間後に撤去する。 ②撤去した自転車等は、和泉自転車保管所に移動・保管し、保管期限内に自転車の所有者が申し出た場合に返還を行う。 ③保管期限が経過した自転車等は、自転車商組合への払い下げ、処分業者への売払いなどにより処分する。 ④中心市街地の放置自転車等を巡回整理する業務、最寄りの駐輪場へ誘導する業務を(公社)松山市シルバー人材センターに委託し、放置自転車等を抑制する。 ⑤駐輪需要が発生する地域での建物の新築及び増築に伴い、用途や面積に応じて義務付けられている駐輪場設置届出の確認を行う。</p>						

2.事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	交通安全対策費	
		令和5年度	令和6年度	令和7年度						
予算 (千円)	事業費計	31,457	25,654	31,195		主な経費(千円)【R6決算】	駐輪場誘導業務委託		13,625	
	国費・県費	0	0	0				和泉自転車保管所外管理業務委託	4,152	
	市債	0	0	0					和泉自転車保管所外管理業務委託	3,193
	その他	2,270	1,916	1,832						
	一般財源	29,187	23,738	29,363						
決算 (千円)	事業費計	26,683	24,960			主な取組内容【R6】	・放置自転車等に対する警告、撤去、返還等の手続 ・中心市街地での駐輪場誘導(サイクルガイド)及び放置自転車等の巡回整理 委託先:シルバー人材センター			
	国費・県費	0	0							
	市債	0	0							
	その他	2,165	2,139							
	一般財源	24,518	22,821							
	(執行率)	85%	97%							
人役	正規職員	4.0	4.0	4.0		特記事項				
	その他	6.4	6.4	6.4						
	合計	10.4	10.4	10.4						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	放置自転車撤去台数	目標		2,400	2,500	2,500	2,500	駐輪場の自転車を毎日整理し、枠外駐輪を防止した。
		実績		3,494	3,230			
	単年で増	台	達成率	146%	129%			
活動指標	市内中心部の放置自転車等台数	目標		1,600	1,600	1,600	1,600	定期的な啓発や案内文の掲示により、駐輪場の適正な利用を周知した。
		実績		1,646	1,431			
	単年で減	台	達成率	97%	112%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	放置禁止区域の設定、自転車等の撤去等の取組が、放置自転車等の防止につながっている。						
課題	放置自転車等台数は減少しているものの、依然として多い状況であるため、駐輪マナーの啓発等を目的とした高校生の自転車安全教室を引き続き警察と合同で行う。また、市内中心部の放置自転車が多い場所では、対策を工夫し、放置自転車台数の減少を目指す。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	大まかな対策はこれまでと同様であるが、啓発活動等に工夫を凝らし、放置自転車等を減少させる必要がある。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6836
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	四国新幹線導入促進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
33121								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する			-	-	-	-	
施策	良好な交通環境の整備							
主な取組	公共交通機関の利便性向上		根拠法令	なし				
取組みの柱	公共交通の維持確保							
目的・背景	全国各地で高速鉄道ネットワークの整備が進む中、四国の新幹線は、昭和48年に国の基本計画路線に策定されたままであり、整備に向けた具体的な計画がない状況であるため、新幹線の整備実現に向けて機運を醸成する。							
対象・内容	四国の県庁所在地4市で勉強会を開催するほか、愛媛県新幹線導入促進期成同盟会に参画し、関係機関への要望活動等を行う。							

2.事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費
		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	0	1,211	1,047			主な経費(千円) 【R6決算】	要望活動等に伴う普通旅費	503
	国費・県費	-	0	0				愛媛県新幹線導入促進期成同盟会への負担金	162
	市債	-	0	0					
	その他	-	0	0					
	一般財源	-	1,211	1,047					
決算 (千円)	事業費計	0	713	0			主な取組内容 【R6】	・四国の県庁所在地4市の実務者勉強会を開催した。 ・愛媛県新幹線導入促進期成同盟会として要望活動を行った。	
	国費・県費	-	0	0					
	市債	-	0	0					
	その他	-	0	0					
	一般財源	-	713	0					
(執行率)	0%	59%							
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5			特記事項	予定していた先進地視察が中止になったことから、決算額が予算額を大きく下回った。	
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	実務者勉強会の開催回数	目標	-	2	2	2	第2回目に開催に向けた先進地視察が悪天候によって中止となったため。		
		実績	-	1					
	現状維持	回	達成率	-	50%				
活動指標	四国新幹線導入に関する要望活動の回数	目標	-	2	2	2	要望活動を予定どおり行うことができた。		
		実績	-	2					
	現状維持	回	達成率	-	100%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	実務者勉強会を予定どおり開催できなかった。							
課題	機運醸成に向けた取組や国への要望活動を継続的に進めていく必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	四国新幹線の整備実現のためには、機運醸成に向けた取組や国への要望活動を継続的に進めていくことが重要である。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	公共交通担当	連絡先	948-6448
------	-------	-----	----------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	公共交通利用促進環境整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
33121								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する			○	-	○	-	
施策	良好な交通環境の整備							
主な取組	公共交通機関の利便性向上		根拠法令	なし				
取組みの柱	公共交通の維持確保							
目的・背景	過度に自動車に依存する移動手段を、公共交通を中心としたものとする事で、インフラにかかるコストを縮減し、持続可能な都市構造に変換することが求められるため、市民の生活交通を維持・確保するとともに、将来の公共交通のありかた等を調査検討する。							
対象・内容	離島航路を運航する(有)新喜峰及び中島汽船(株)、路線バスを運行する伊予鉄バス(株)及び中島汽船(株)並びに予約制乗合タクシーを運行する(有)北条栗井交通、(有)栗井タクシー、(有)四国交通(株)、(有)祝谷タクシー、(有)森松交通及び(有)砥部タクシーに補助金を交付し、運行(航)費の一部を支援することで、生活交通手段を維持し、及び確保し、並びに利便性を向上させる。 伊予鉄道(株)に対し、新型LRV(2両)の購入費並びにまくら木及びレールの更新費の一部に補助金を交付し、安全・安心な運行を確保することで、利便性を向上させる。 伊予鉄バス(株)に対し、小学生を対象とした公共交通体験環境学習事業費の一部に補助金を交付し、公共交通の学習・体験授業を行うことで、公共交通への興味や関心を高め、公共交通への利用転換を促す。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画整備費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	松山市離島航路補助金	164,967	
予算(千円)	事業費計	460,539	450,276	467,557					
	国費・県費	212,156	202,919	198,239					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	248,383	247,357	269,318					
決算(千円)	事業費計	402,586	342,480			主な取組内容【R6】	・公共交通事業者等に補助金を交付した。 ・松山市地域公共交通会議を開催した。		
	国費・県費	185,587	154,435						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	216,999	188,045						
	(執行率)	87%	76%						
人役	正規職員	1.0	3.0	4.0		特記事項	令和6年度分を繰り越した。		
	その他	0.0	1.0	0.0					
	合計	1.0	4.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	LRV車両の導入率	目標	63	68	-	68	LRV車両が予定どおり導入されたため。	
		実績	63.2	68.4				
	累計で増	%	達成率	100%	100%			
活動指標	松山市地域公共交通会議の開催	目標	-	2	-	2	協議が必要な案件に応じて、適切な時期に開催できたため。	
		実績	2	4				
	現状維持	回	達成率					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	交通事業者と連携し、計画どおりLRV(低床路面電車)車両を導入したほか、補助金を交付し、市民の生活の足である公共交通を維持・確保することができた。						
課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で公共交通機関の利用者数が大幅に減少して以降、現在は増加傾向にあるが、コロナ禍前の水準には戻っていない。また、燃油価格高騰による経費の増加により、事業者の経営を圧迫している。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き公共交通の維持・確保に努めながら更に利用を推し進める必要がある。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6836
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	愛媛県土木建設負担金(街路)事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
33211								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する			-	-	-	-	
施策	交通基盤の整備		根拠法令	愛媛県土木建設事業負担金条例				
主な取組	幹線道路網の整備							
取組みの柱	幹線道路のネットワーク化							
目的・背景	地方財政法第27条の規定に基づき地方財政の健全化のため、愛媛県が実施する土木建設事業(街路)の費用について、受益自治体として一部を負担し、本市の街路整備を進めることを目的とする。							
対象・内容	愛媛県が行う土木建設事業のうち街路事業について、愛媛県土木建設事業負担金条例第2条に規定する負担基準に基づき、愛媛県に負担金を支出する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	街路総務費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	愛媛県への負担金		296,881
予算(千円)	事業費計	886,683	296,926	0					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	797,300	14,700	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	89,383	282,226	0					
決算(千円)	事業費計	886,662	296,881			主な取組内容【R6】	県に負担金を交付した。		
	国費・県費	0	0						
	市債	797,400	267,000						
	その他	0	0						
	一般財源	89,262	29,881						
(執行率)	100%	100%							
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	負担金の適正な執行	目標		2	2	2	2	負担金の交付に当たり、愛媛県から説明を受けるとともに、内容の精査及び検証を行い、適正に執行できた。	
		実績		2	2				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	街路事業を予定どおり行うことができた。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	愛媛県土木建設事業負担金条例に基づき、事業費の一部を負担する必要がある。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6836
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1. 事業概要【Plan】

事業名	松山空港国際化支援事業補助金		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
33222								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する			-	-	○	-	
施策	交通基盤の整備							
主な取組	広域な交通ネットワークの充実		根拠法令	松山空港国際化支援事業費補助金交付要綱				
取組みの柱	松山空港の活性化							
目的・背景	官民が連携し、松山空港発着の国際定期路線の利用を促し、路線を活性化させることで、航路の維持・発展を目的とする。							
対象・内容	補助金交付先:松山空港ビル株式会社 松山空港ビル株式会社が行う、松山空港発着の国際線を運航する航空会社への空港施設使用料、着陸料等に係る助成事業に対し、県と市が連携して補助金を交付する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	港湾費	目	港湾管理費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円) 【R6決算】	松山空港ビル株式会社への補助金		180,518
予算(千円)	事業費計	46,218	182,373	236,742					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	46,218	182,373	236,742					
決算(千円)	事業費計	37,943	180,518			主な取組内容【R6】	松山空港ビル株式会社が行う、国際線を運航する航空会社への空港施設使用料等に係る助成事業に対し、県と連携して補助金を交付した。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	37,943	180,518						
(執行率)	82%	99%							
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	国際線の維持	目標		3	4	4	4	適正に補助金を交付し、県市が連携して支援を行ったことで、国際線を維持できた。	
		実績		4	4				
	累計で増	路線	達成率	133%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	国際線(ソウル線・釜山線・台北線)を維持することができ、搭乗率も順調に推移している。							
課題	各航空会社の機材や人材の不足が問題となる中、路線を維持・拡充するとともに、各路線の高い搭乗率を維持する必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山空港発着の国際線を維持・拡充するための取組を継続して行っていく必要がある。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6836
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1. 事業概要【Plan】

事業名	松山空港利用促進協議会負担金事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金
33222							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する			-	-	○	-
施策	交通基盤の整備						
主な取組	広域な交通ネットワークの充実		根拠法令	なし			
取組みの柱	松山空港の活性化						
目的・背景	「松山空港利用促進協議会」が行う、松山空港に就航する国際定期路線の開拓をはじめ、国内外の航空路線の維持・拡充を積極的に推進するとともに、松山空港の魅力向上させることで、松山空港を活性化することを目的とする。						
対象・内容	松山空港利用促進協議会に県と市が連携して負担金を交付する。 松山空港ビル株式会社に県と市が連携して補助金を交付する。						

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費	
		令和5年度	令和6年度	令和7年度						
予算 (千円)	事業費計	53,045	93,321	55,764		主な経費(千円) 【R6決算】	松山空港利用促進協議会への負担金		67,006	
	国費・県費	0	0	0				松山空港ビル株式会社への補助金		499
	市債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	53,045	93,321	55,764						
決算 (千円)	事業費計	46,065	67,505			主な取組内容 【R6】	・松山空港利用促進協議会に負担金を交付した。 ・松山空港ビル株式会社が行う松山空港の魅力向上させる事業に対し、補助金を交付した。			
	国費・県費	16,825	0							
	市債	0	0							
	その他	0	0							
	一般財源	29,240	67,505							
(執行率)	87%	72%								
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項				
	その他	0.0	0.0	0.0						
	合計	0.5	0.5	0.5						

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	協議会の適正な運営	目標	1	1	1	1	報告書等に基づき、協議会の適正な運営を確認できた。	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
活動指標	負担金の適正な執行	目標	1	1	1	1	国際線の増便に伴い、追加で負担金を交付した。負担金の交付に当たり、内容の精査及び検証を行い、適正に執行できた。	
		実績	2	2				
	現状維持	回	達成率	200%	200%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	国際線(ソウル線・釜山線・台北線)を維持することができ、搭乗率も順調に推移している。						
課題	各航空会社の機材や人材の不足が問題となる中、路線を維持・拡充するとともに、各路線の高い搭乗率を維持する必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	「松山空港利用促進協議会」を通して、国内外の航空路線の維持・拡充のための取組を継続して行っていく必要があるため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6836
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1. 事業概要【Plan】

事業名	愛媛県土木建設負担金(道路)事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金
51112							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	快適な生活基盤をつくる			-	-	-	-
施策	居住環境の整備		根拠法令	愛媛県土木建設事業負担金条例			
主な取組	生活道路等の整備・維持管理						
取組みの柱	生活道路の整備						
目的・背景	地方財政法第27条の規定に基づき地方財政の健全化のため、愛媛県が実施する土木建設事業(道路)の費用について、受益自治体として一部を負担し、本市の道路整備を進めることを目的とする。						
対象・内容	愛媛県が行う土木建設事業のうち道路事業について、愛媛県土木建設事業負担金条例第2条に規定する負担基準に基づき、愛媛県に負担金を支出する。						

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁総務費
		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	19,543	22,965	0		主な経費 (千円) 【R6 決算】	愛媛県への負担金		22,062
	国費・県費	0	0	0					
	市債	6,900	8,000	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	12,643	14,965	0					
決算 (千円)	事業費計	18,680	22,062			主な取組 内容 【R6】	県に負担金を交付した。		
	国費・県費	0	0						
	市債	6,600	7,500						
	その他	0	0						
	一般財源	12,080	14,562						
	(執行率)	96%	96%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	負担金の適正な執行	目標	2	2	2	2	負担金の交付に当たり、愛媛県から事業説明を受けるとともに、内容の精査及び検証を行い、適正に執行できた。		
		実績	2	2					
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道路事業を予定どおり行うことができた。							
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	愛媛県土木建設事業負担金条例に基づき、事業費の一部を負担する必要がある。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6836
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道路整備促進会事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金
51112						
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-
施策	居住環境の整備					
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	なし			
取組みの柱	生活道路の整備					
目的・背景	道路整備を進めるための同盟会、協議会等に参加し、加盟する地方公共団体等と連携して国への要望活動を行い、道路整備に必要な財源を確保することを目的とする。					
対象・内容	道路関係の同盟会等に参加し、加盟する地方公共団体等と連携して知事や国に対して道路整備の財源確保、本市への道路予算の重点配分等の要望活動を行う。 加盟団体: 愛媛県市町道整備促進期成同盟会、愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会、四国国道協会、国道33号整備促進期成同盟会、国道494号整備促進期成同盟会、松山自動車道・大洲道路4車線化整備促進期成同盟会、全国街道交流会議街道交流会首長会					

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁総務費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	887	909	991			主な経費(千円) 【R6 決算】	要望活動に伴う普通旅費	253
	国費・県費	0	0	0				加盟する同盟会等への負担金	575
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	887	909	991					
決算 (千円)	事業費計	643	828				主な取組内容 【R6】	各同盟会の要望活動、総会等に参加した。	
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	643	828						
	(執行率)	72%	91%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2			特記事項		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	道路整備に関する要望活動の回数	目標	10	10	10	10	加盟する団体と連携して要望活動を行うことができた。	
		実績	10	10				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
成果指標	協議会の適正な運営	目標	1	1	1	1	報告書等に基づき、協議会の適正な運営を確認できた。	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	要望活動を予定どおり行うことができた。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も道路整備に必要な財源を確保するための要望活動を継続して行っていく必要がある。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	都市計画担当	連絡先	948-6846
------	-------	-----	----------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	都市再生協議会運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
52212								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	特色ある都市空間を創出する			○	○	○	○	
施策	計画的な土地利用の推進							
主な取組	市街地形成の推進		根拠法令	なし				
取組みの柱	協働による中心市街地のまちづくり							
目的・背景	公民学が連携し、まちづくりについて、調査研究、計画立案、実践及びこれらの支援、情報発信並びに人材育成等を行うことを目的として設立された「松山市都市再生協議会」の活動を支援する。							
対象・内容	松山市都市再生協議会に負担金を交付し、松山市都市再生協議会及びその実践組織であるまちづくり組織「松山アーバンデザインセンター」の事業に必要な連絡調整等を行う。							

2.事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画整備費
		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	44,209	39,212	39,212			主な経費(千円) 【R6 決算】	松山市都市再生協議会への負担金	35,000
	国費・県費	17,500	17,500	17,500				アーバンデザインセンター事務所の賃借料	4,152
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	26,709	21,712	21,712					
決算 (千円)	事業費計	44,152	39,152				主な取組内容 【R6】	松山市都市再生協議会を通して、公・民・学が連携し、まちづくりの担い手育成、公共空間の利活用に関する社会実験、まちづくり拠点の運営のほか、アーバンデザイン研究会を行った。	
	国費・県費	17,500	17,500						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	26,652	21,652						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0			特記事項		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	まちづくり講座の参加人数	目標	20	20	20	-	松山アーバンデザインセンターの活動が広く認知されている。	
		実績	24	28				
	現状維持	人	達成率	120%				
活動指標	負担金の適正な執行	目標	-	1	1	1	負担金の交付に当たり、内容の精査及び検証を行い、適正に執行できた。	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	-	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	アーバンデザイン・スマートシティスクール松山を開講し、まちづくりの担い手を育成することができた。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の目的であるまちづくりの担い手育成を継続して行う必要がある。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6836
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	都市政策事務事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金		
52222		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		-	-				
政策	特色ある都市空間を創出する		-	-				
施策	計画的な土地利用の推進		根拠法令 なし					
主な取組	適正な土地利用の推進							
取組みの柱	土地利用の誘導							
目的・背景	円滑な都市計画行政の推進を目的とする。							
対象・内容	コンパクトなまちづくり推進協議会、自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会、重信川サイクリングロード活性化推進委員会、国際特別都市建設連盟、都市計画協会、全国地区計画推進協議会、土木学会、愛媛県土木協会、路面公共交通研究会、全国民間空港関連市町村協議会に負担金を支出し、都市計画事業を円滑に推し進める。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費			
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円) 【R6決算】	加盟する協議会等への負担金		4,755			
予算(千円)	事業費計	2,480	6,632	7,712				要望活動等に伴う普通旅費			804	
	国費・県費	0	0	0						事務用品購入に伴う備品購入費		
	市債	0	0	0								
	その他	221	238	353								
	一般財源	2,259	6,394	7,359				37				
決算(千円)	事業費計	1,851	6,212			主な取組内容 【R6】	・加盟する協議会等の総会等へ出席した。 ・松山市都市計画審議会を開催した。					
	国費・県費	0	0									
	市債	0	0									
	その他	350	603									
	一般財源	1,501	5,609									
	(執行率)	75%	94%									
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項	令和6年度から国際特別都市建設連盟関係事業、都市政策関係負担金事業、都市交通関連事業(新幹線に係る事業を除く)を都市政策事務事業に統合した。					
	その他	0.0	0.5	0.5								
	合計	0.5	1.0	1.0								

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	負担金の適正な執行	目標		3	12	12	12	負担金の交付に当たり、内容の精査及び検証を行い、適正に執行できた。	
		実績		3	12				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
成果指標	協議会の適正な運営	目標		2	4	4	4	報告書等に基づき、協議会の適正な運営を確認できた。	
		実績		2	4				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業を予定どおり行うことができた。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、都市計画行政を円滑に推し進める必要があるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	都市計画担当	連絡先	948-6846
------	-------	-----	----------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山広域都市計画変更調査事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
52222				各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				○	-	○	-	
政策	特色ある都市空間を創出する								
施策	計画的な土地利用の推進			根拠法令	なし				
主な取組	適正な土地利用の推進								
取組みの柱	土地利用の誘導								
目的・背景	将来の人口規模に合った効率的な都市基盤の整備及び集積並びに持続可能な集約型都市構造の実現を目指す。								
対象・内容	松山市コンパクトシティ推進協議会を開催するほか、松山都市圏の人の動きに関する交通実態調査(パーソントリップ調査)を行い、本市の各種計画の見直しを行う。								

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画整備費
		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	81,632	122,239	101,822			主な経費 (千円) 【R6 決算】	松山都市圏の人の動きに関する現況分析委託費	24,200
	国費・県費	27,000	24,300	28,966				都市計画基礎調査委託費	15,610
	市債	0	0	0				都市計画総括図作成業務委託費	1,858
	その他	0	0	0					
	一般財源	54,632	97,939	72,856					
決算 (千円)	事業費計	51,193	42,138				主な取組内容 【R6】	松山都市圏の人の動きに関する交通実態調査による基礎データから現況分析を行った。	
	国費・県費	16,977	7,300						
	市債	0	0						
	その他	46	0						
	一般財源	34,170	34,838						
	(執行率)	63%	34%						
人役	正規職員	0.5	2.0	2.0			特記事項	令和6年度分を繰り越した。	
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	松山市都市計画マスタープラン更新の進捗率	目標	目標	60	85	100	100	国の補助額が本市の要求額に満たなかったため、目標は未達成となったが、事業は順調に進捗している。	
		実績	実績	50	65				
		累計で増	%	達成率	83%	76%			
		目標	目標						
		実績	実績						
		達成率	達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	松山都市圏の人の動きに関する交通実態調査(パーソントリップ調査)による基礎データから現況分析を行うことができた。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、各種計画の更新作業を行う必要がある。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	都市・交通計画課	担当G	総務・駐車・駐輪・交通安全担当	連絡先	948-6836
------	-------	-----	----------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	街路整備促進会事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
52222							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	特色ある都市空間を創出する		-	-	-	-	
施策	計画的な土地利用の推進						
主な取組	適正な土地利用の推進	根拠法令	なし				
取組みの柱	土地利用の誘導						
目的・背景	松山都市圏の幹線道路を早期に整備することで、広域交通体系を確立し、松山広域都市圏の安全で安心な住民生活の確保、産業・観光の振興、地域間格差の解消など、自立した地域振興の活性化及び発展を目的とする。						
対象・内容	松山圏域の幹線道路の着実な整備促進に積極的に取り組んでいくため、松山市、東温市、伊予市、松前町、砥部町に民間団体等が加わった同盟会を組織し、国土交通省、本県選出国會議員等への要望活動を行う。						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	街路総務費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	1,224	852	875		主な経費 (千円) 【R6 決算】	要望活動に係る旅費		342
	国費・県費	0	0	0			同盟会への負担金		483
	市債	0	0	0					
	その他	304	150	150					
	一般財源	920	702	725					
決算 (千円)	事業費計	1,086	825			主な取組 内容 【R6】	国、県、国會議員等に対して要望活動を行った。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	172	166						
	一般財源	914	659						
	(執行率)	89%	97%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	街路整備に関する 要望活動の回数	目標	3	3	3	3	加盟する団体と連携して要望活動を行うことができた。		
		実績	5	3					
	現状維持	回	達成率	166%	100%				
成果 指標	同盟会の適正な運営	目標	1	1	1	1	報告書等に基づき、同盟会の適正な運営を確認できた。		
		実績	1	1					
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	要望活動を予定どおり行うことができた。							
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	松山圏域の幹線道路を早期に整備するためには、要望活動を継続して行う必要がある。		